

平成 1 8 年 4 月 1 日 ~ 9 月 3 0 日

1 実践内容等

日 時	場 所	実 践 内 容 等	対 象
4月30日(日)	第二中学校	第二中学校体育祭 町別対抗リレーへの参加	小学56年生・生徒 小中教職員
5月 9日(火) 7月11日(火)	各小中学校 校門ほか	小中合同スマイルあいさつ運動 (登校指導)	小中教職員, P T A, 生徒会児童会
5月15日(月)	第二中学校	合同研修会(全体会, 部門部会) 今年度の方針・方向確認	小中教職員
6月11日(日)	第二中学校	二中校区おやじの会 (プールのペンキ塗り)	二中校区 P T A 生徒, 児童, 地域の方
7月 7日(金)	西小学校 東小学校 広谷小学校 第二中学校	図工 「教科・学び方」部会 家庭科 乗り入れ授業(TT) 国語 および研修 「キャリア・道徳」部会研修 「生徒指導」部会研修	小中教職員
6月 1日(木) 7月20日(木)		小中一貫だより発行	小中保護者向け
8月 4日(金)	文化センター	全体研修 講演「一貫校で進める小中一貫教育の取り組み」 池野範男(検討会議委員長) 説明「統合小中学校について; 施設設備」 府中市教育委員会・(株)日本設計	小中教職員
8月 9日(金)	教育センター TAMスクエア	部門別研修会 「教科・学び方」部会 ; 指導案検討 「生徒指導」部会 ; 連携指導七項目について 「キャリア・道徳」部会; カリキュラムづくり	
8月 8日(水)	文化センター	一中との合同研修 「教科教室型の学校運営」 講師 千葉打瀬中学校教務主任	中学校教職員
5月26日(金) 5月29日(月) 6月14日(水) 6月23日(金) 7月10日(月) 9月29日(金)	二中 東小 岩谷小 二中 広谷小・二中 二中	小中教職員相互乗り入れ (かけ橋の日)	小中教職員
4月11日(火) 5月 9日(火) 6月20日(火) 7月28日(金) 9月 4日(月)	二中 二中 二中 二中 二中	第1回事務局会 第2回 " 第3回 " 第4回 " 第5回 "	各学校事務局員

2 成果

研究三部会

(教科・学び方)

小中の教員が共同で授業すること（乗り入れ授業）で、小中の指導の違いや小中の流れの中でのつながりを知ることができた。また、教科毎に繰り返し意識して指導する必要のある事項などが見えてきた。

三小学校（岩谷小学校をのぞく）共通の英語シラバスでの授業ができています。年間28時間小学校への乗り入れ授業を行っている。岩谷小学校に関しては9月7日に乗り入れ授業を行った。3学期にもう一度行う予定である。また、小学校の低・中・高学年段階で英語活動をどのようにするのか、という到達目標を持ち指導できている。

(キャリア・道徳)

総合的な学習の時間についての交流を行うことができた。

(生徒指導)

連携七項目について、それぞれの学校で保護者説明等を行い、基本的指導事項として認識につなげていこうとしている。

行事

第二中学校の体育祭に小学生が参加でき、行事でのつながりを持つきっかけとなった。

かけ橋の日

相互に行き来する中で具体的にお互いに参考になることがあり、教職員が学び合うことができた。（掲示物の工夫について・チャイムを守る指導の徹底）

全般的に

小中相互に交流することで、子どもたちの様子やお互いの理解が深まってきている。また、教職員の動きが児童生徒にとっても日常の風景となっている。

3 課題

教育研究の充実

授業での交流（論理的思考力・表現力の育成に向けて）をもっと頻繁に行うことが必要であり、相互に校内授業研に参加する必要がある。

その中で、小中の授業観の違いを交流することが必要である。

一体校に向けて欠かすことができない。

教科毎の連携

上記ともかわるが、少人数で各教科毎での研修を行う必要がある。

かけ橋の日

特に学習スタイルの違いや授業の進め方の違いなど、さらに連携する必要があると感じた。また、生徒指導のスタイルの違いも大きいものがあり、発達段階を考えながらさらに研修を積む必要を感じている。

新しい校舎を生かす教育課程・指導態勢の検討

生徒の動線や教職員の連携を軸に効果的なものを考えたい。